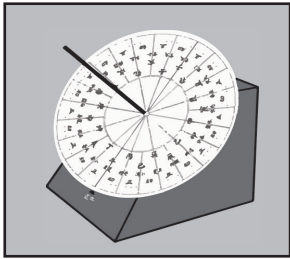
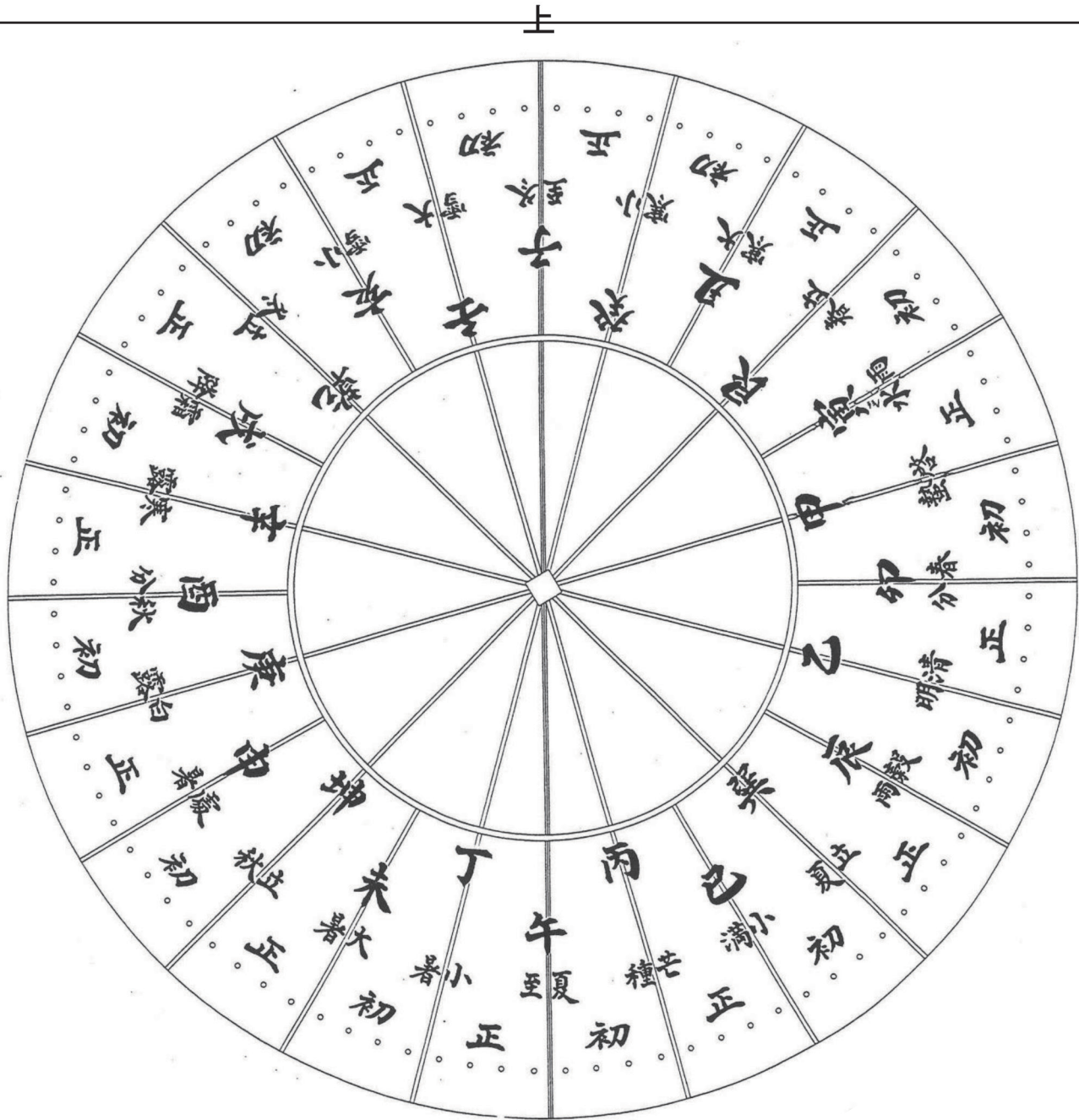


首里城の日時計（日影台）をつくってみよう！

- ① この紙を厚紙や段ボールなどに貼り付け、下の時刻盤を円形に切り取ります。
（この紙を厚紙などにコピーし直してもよいでしょう）
- ② 角度をつける台を作ります。春、夏、秋、冬で使う台を変えます。
（春分・秋分の日には 45° の台、夏至の日には 64° の台、冬至の日には 10° に変える）
※琉球王国時代には 1 年間に 24 回、角度を変えていたようです。
- ③ ②の台に①を貼ります。向きに注意して上（子）と下（午）を垂直に貼ります。
- ④ 時刻盤の中央に、垂直に棒を立てる。つまようじ、竹串がよいでしょう。



【完成図】
晴れた日に、北の方角に
向け使います。（時刻盤
の面を北に向けます）



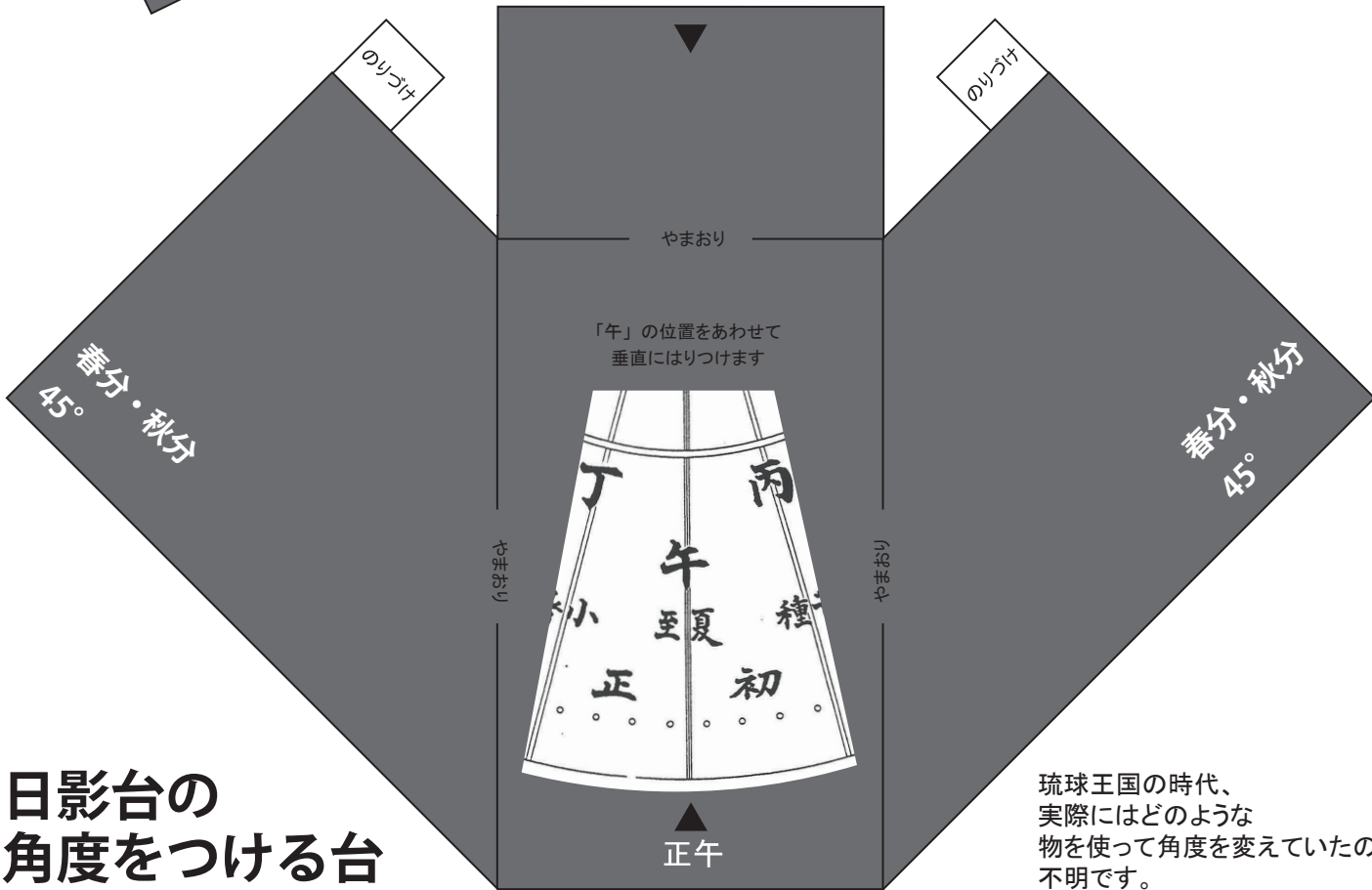
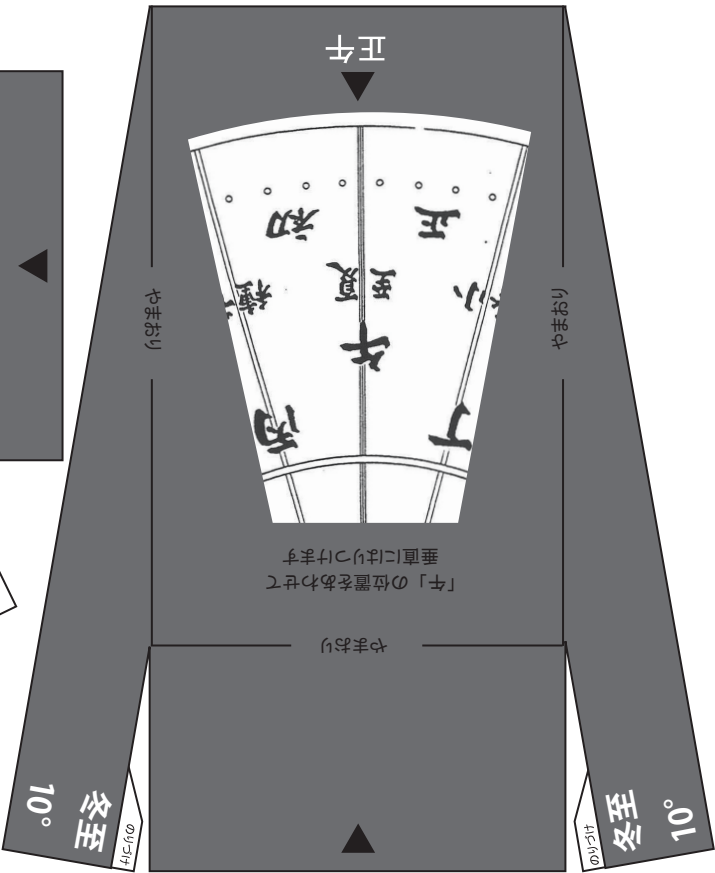
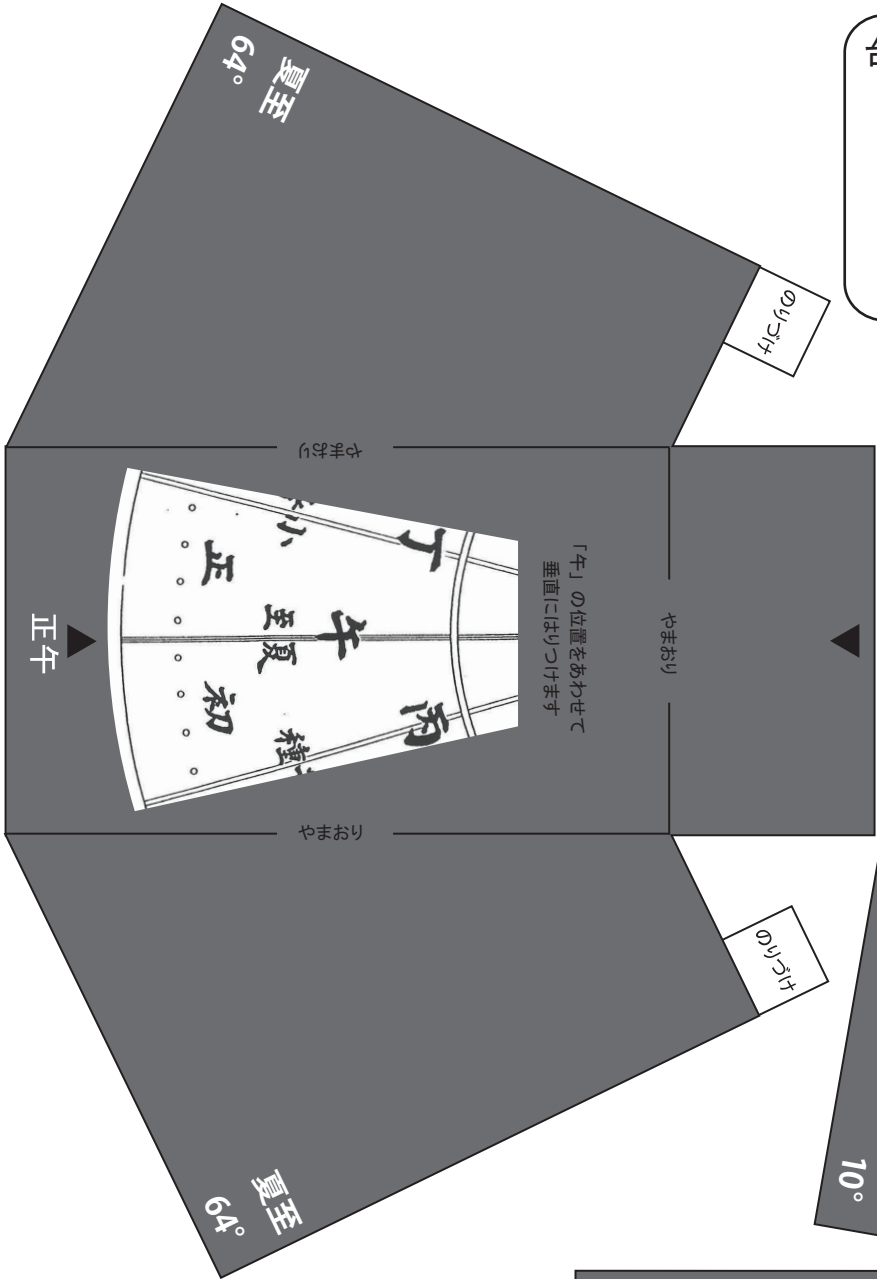
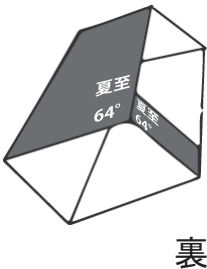
角度をつける台
裏面の補強パーツ

のりづけ	春分・秋分 45°	のりづけ
------	--------------	------

のりづけ	冬至 10°	のりづけ
------	-----------	------

のりづけ	夏至 64°	のりづけ
------	-----------	------

台の完成図



日影台の
角度をつける台

琉球王国の時代、
実際にはどのような
物を使って角度を変えていたのかは
不明です。